

令和2年度 人権教育推進計画書

羽曳野市立駒ヶ谷幼稚園

1 令和元年度 総括

○成果

本園は少人数であり、友だちとの関わりにおいて、自分で感じたことや考えたことを言葉にして伝えることが苦手な子どもが多く見られた。そんな子ども達の実態を踏まえ、「一人ひとりのよさを認め合いながら、育ち合う仲間づくり」をめざし、自分や友だちの良さを見つけ、言葉で表現することができるよう意図的に取り組み、日々の保育を進める中で、自分の言葉で表現することの大切さや、認めてもらうことへの喜びを味わった。また、認めてもらったことで、友だちの気持ちも受け止め、思いやる姿が見られるようになってきた。

運動会やお楽しみ会、生活発表会などの大きな行事では、一つの目標に向かって、共通の目的をもつことで、仲間意識が高まり、達成する喜びを友だちと一緒に味わった。活動を通して、友だちの良さに気付いたり、認め合ったり、互いに育ちあう姿が見られた。

多くの人との関わりができるよう、羽曳野市内の他園との交流や小学校、中学校との交流、地域の人との交流に取り組むことで、優しく関わってもらうことを経験することができた。今年度より、3歳児保育が始まったが、さまざまな人に優しく関わってもらった経験から、自分や友だち、また、小さい友だちにも優しい気持ちを持ち、思いやる姿が見られた。

今後も交流活動を通して、園児たちの豊かな体験活動や育ちへとつなげていきたい。

2 令和2年度 人権教育推進の基本方針及び重点課題

基本方針

- 1、一人ひとりを大切に人間性豊かな子どもの育成をめざす
- 2、一人ひとりのよさを認め合いながら、育ち合う仲間づくりをめざす

重点課題

○生きる力の基礎を育む

- ・いろいろな発見を楽しみ、キラキラ輝く子ども
- ・話を聞き、理解し行動できる子ども
- ・言葉で表現できる子ども
- ・『自分が好き』『友だちが好き』『人が好き』と感じる子ども

○コミュニケーション能力を育む

- ・同年代の友達とかかわる力
- ・さまざまな人とかかわる力

3 令和2年度 人権教育推進体制

- ・園児の観察記録を元に実態を把握し、思いやりやいたわりの気持ち、まわりの仲間も自分も大切に思う心が持てるような援助の在り方について研究を深める。
- ・地域の方々や友だちとの関わりを大切に、少人数ならではの利点を活かし、園児にとっての環境づくりを推進し、共に楽しみ、共感し合う体験を通して、進んで感情や意志を表現できるような保育を進める。
- ・幼、小、中学校の交流、連携を深め、情報交換や相互理解に努める。
- ・家庭、地域との連携を深め、人権意識や家庭教育の向上を図る。
- ・研究会、研修会、講演会に積極的に参加する。

4 具体的実践計画（参考様式2） <幼稚園2-1>

	月	研修計画（テーマ・手法・講師等）	備考
1 学期	4	・年間計画の作成 ・子どもの実態把握 ・地域の把握	
	5	・子どもの様子 ・保護者の願い ・クラスの運営方針について	
	6	・基本的な生活習慣の確認、見直し	
	7	・個人懇談会 ・1学期の反省と2学期の取り組みについて	
	8	・各種研修への参加、報告	
2 学期	9	・個々の発達に応じた支援のあり方について	
	10	・一人ひとりの子どもの変容と課題について	
	11	・子どもの様子、課題について共通理解	
	12	・個人懇談会、2学期の反省と3学期の取り組みについて	
3 学期	1	・子どもの成長、課題について	
	2	・小学校就学、進級に向けて生活の見直し	
	3	・1年間のまとめと反省 ・次年度への課題	

※合同研修等の場合は、備考欄に「中学校区幼小中合同」等を明記してください。

5 具体的実践計画（参考様式2） <幼稚園2-2>

		3歳児・4歳児	
	子どもの姿	人権教育の視点から育てたいもの	主な継続性
1 学期	① 好きな遊びをする ・固定遊具で遊ぶ ・自然に触れて遊ぶ ・運動遊具で遊ぶ ・砂遊びをする ・動植物の世話をする ・どろんこ遊びをする ・水遊びをする ・小動物と遊ぶ ・当番活動をする	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園のきまりを知る ・先生や友達に親しみをもつ ・自分で好きな遊びを見つけ、その楽しさを知る ・動植物と接し、親しみをもつ ・基本的な生活習慣を身につける ・園外に出かけ、地域を知る ・園生活を楽しむ中で、集団生活の約束や遊びのルールを知る ・動植物の世話をしながら、思いやりの気持ちをもつ ・いろいろな人と一緒に遊ぶ楽しさを知る ・地域の様子に興味や関心をもつ 	5歳児①
	② リズム遊びをする		5歳児②
	③ 仲よし遊びをする		5歳児③
	④ 地域めぐりをする		5歳児④
	⑤ 地域交流、他園交流をする		5歳児⑤
	⑥ プール遊びをする		5歳児⑥
	⑦ 夏の楽しい集いをする		5歳児⑦
	⑧ 未就園児と遊ぶ		5歳児⑧
	⑨ 小学校交流をする		5歳児⑨
	⑩ 中学生と触れ合う		5歳児⑩
2 学期	⑪ 好きな遊びをする ・運動遊具で遊ぶ ・自然に触れて遊ぶ ・素材を使って遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のきまりや遊びのルールを守って行動し、みんなと遊ぶことの楽しさを知る ・体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、丈夫な体作りをしていく ・友だちと思いを出し合って遊びを楽しむ。 ・いろいろな人と触れ合い、遊ぶ楽しさを味わう 	5歳児⑪
	⑫ 運動会をする		5歳児⑫
	⑬ リズム遊びをする		5歳児⑬
	⑭ 地域交流、他園交流をする		5歳児⑭

	⑮ 小学校交流をする ⑯ ごっこ遊びをする ⑰ 未就園児と遊ぶ ⑱ ようちえんまつりをする ⑲ 小学校交流をする ⑳ 中学生と交流する		5歳児⑮ 5歳児⑯ 5歳児⑰ 5歳児⑱ 5歳児⑲ 5歳児⑳
3学期	好きな遊びをする ・運動遊具で遊ぶ ・自然に触れて遊ぶ ⑳ 冬の遊びをする ㉑ 伝承遊びをする ㉒ 劇遊びをする ㉓ 地域交流、他園交流をする ㉔ 小学校交流する	・地域の方と触れ合い、親しみをもって一緒に遊ぶ ・元気いっぱい意欲的に遊ぶ ・目的に向かって力を合わせる大切さを知る ・進級を喜び、先生や友達、お世話になった人々に感謝の気持ちをもつ	5歳児㉑ 5歳児㉒ 5歳児㉓ 5歳児㉔ 5歳児㉔

5歳児			
	子どもの姿	人権教育の視点から育てたいもの	主な継続性
1学期	① 好きな遊びをする ・固定遊具で遊ぶ ・自然に触れて遊ぶ ・運動遊具で遊ぶ ・砂遊びをする ・動植物の世話をする ・どろんこを遊ぶ ・水遊びをする ・小動物と遊ぶ ・当番活動をする ② リズム遊びをする ③ 仲良し遊びをする ④ 地域めぐりをする ⑤ 地域交流、他園交流をする ⑥ プール遊びをする ⑦ 夏の楽しい集いをする ⑧ 未就園児と遊ぶ ⑨ 小学校交流をする ⑩ 中学生と触れ合う	・年長児としての意欲をもち、友達と一緒に好きな遊びをする ・年少児や未就園児にやさしい気持ちをもって接する。 ・身体を十分に動かして遊ぶ楽しさを感じる。 ・身近な動植物と触れ合い、思いやりの気持ちをもって世話をする ・他園の友達と出会い、親しみをもつ ・水遊びを通して、開放感を味わいながら、身の安全に気付く ・友達と試したり工夫したりしながらいろいろな遊びに取り組む ・動植物の世話を心を込めてし、生命の大切さを知る ・いろいろな人と一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう	小1 ①③⑤ 小1 ① 小1 ①③ 小1 ①② 小1 ①②③ 小1 ① 小1 ①③ 小1 ①③ 小1 ①③ 小1 ①③
2学期	⑪ 好きな遊びをする ・運動遊具で遊ぶ ・自然に触れて遊ぶ ・素材を使って遊ぶ ⑫ 運動会をする ⑬ リズム遊びをする ⑭ 地域交流、他園交流をする ⑮ 小学校交流をする	・相手の考えを受け入れ、協力することができる ・自分や友達のよさを見つけ、仲良く遊ぶ ・身近な自然や社会事象に関心をもち、よく見たり考えたりし、季節や生活の変化に気付く ・動植物の命の大切さを感じ、愛情をもって育てる ・いろいろな人との交流を通して、愛情や思いやり、感謝の気持ちを育てる。	小1 ⑩ 小1 ⑪ 小1 ⑬ 小1 ⑬ 小1 ⑩

	⑯ ごっこ遊びをする ⑰ 未就園児と遊ぶ ⑱ ようちえんまつりをする ⑲ 小学校交流をする ⑳ 中学生と交流する		} 小1 ⑬
3 学 期	㉑ 好きな遊びをする ・運動遊具で遊ぶ ・自然に触れて遊ぶ ㉒ 冬の遊びをする ㉓ 伝承遊びをする ㉔ 劇遊びをする ㉕ 地域交流、他園交流をす る 小学校交流する ㉖ 体験入学、給食体験をする	・冬の自然現象に触れ、身近な自然の変化に気 付く ・自分達の力で遊びを作り出し、進めていく ・共通の、目的に向かって友達と力を合わせ、 やり遂げる喜びを味わう ・友達と協力して遊ぶ中で、相手を認め、仲間 意識を高める。 ・進学に喜びや期待をもち、一緒に過ごした友 だちやお世話になった人々に感謝の気持ちをも つ。	} 小1 ㉑ } 小1 ① } 小1 ㉒ } 小1 ㉕ } ㉖

※「取組番号」欄には、各取組みに通し番号をつけてください。 記入例：①、②、③

※「主な継続性」欄は、その取組みが、校区小学校の何年生の取組番号に継続されるのかをご記入く
 ださい。 記入例：中1⑤、中3②

※取組みにあたり、手法や視聴覚教材、使用教材等をご記入ください。

記入例：教科書＝（教・国）、にんげん＝（に）、府教委等資料＝（府資）、その他＝（教材名）

記入例：ワークショップ＝（WS）、フィールドワーク＝（FW）、視聴覚教材＝（視聴）